

食材の放射能検査体制の確立を！

神田 公司 議員



神田 「学校給食の食材の放射能汚染は大丈夫でしょうか」と保護者に質問を受けた。熊本学園大学の中地重晴教授は「内部被ばくを防ぐには、①放射能に汚染された食品は極力避ける。②魚―産地（銚子沖以南かどうか）による選択が可能だが…。③野菜―冷凍食品の活用、葉物はよく洗う。④肉―全頭検査による安全性の確保。⑤避けられない場合―大人は食べてよいが子どもには食べさせない工夫が必要。⑥ヨウ素131のためには、事故直後ヨウ素剤を飲む（自治体による配布体制の構築）」としている。教育委員会として、食材選びや放射能などの検査についての対応は。

教育部長 学校給食の食材の納入では、栄養士と調理員の立会いの下、検収簿に基づき品名、数量、納品時間、納入業者、製造業者及び所在地、産地、品質、鮮度、包装容器等の状況、異物混入、異臭の有無等について点検、確認を行っている。1学期末に文科省から学校給食の食材の安全確保について、放射性セシウム



給食調理風景

で汚染された稲わらを与えられた可能性のある牛の肉を学校給食で使ったというケースが発生したことを受けて調査があった。

神田 保護者が不安に覚えるのは、日本の食品の（放射能汚染）暫定基準値が、国際基準に比べ高く、当然だ。学校給食の食材の検査体制、食材選びについてお知らせを出すべきだ。

教育部長 「学校便り」を通じてお知らせをしていくということについては、是非考えていきたい。

市民の暮らしに

よみ沿った政策を！

来海 恵子 議員



来海 来年は国保や介護保険料、後期高齢者医療保険料、子ども手当の廃止により、児童手当が復活し所得税等が上がる予測されるが、市民の負担を少なくするため、納期を8回から10回に変更できないか。

市民部長 変えるとなれば、システム改良等大きな費用がかかります。納期回数増加により費用対効果はどうか、また、どの範囲までするか、実施した場合の影響はどうか等を十分に検討しなければ安易に変更はできません。相談体制の充実を図りながら、現行の8期で行きたい。

来海 再度、市長に伺います。

市長 私はそれよりも、健康人口を増やしたいと考えています。

来海 コンビニやポイントのつくクレジットカードを取り入れて、市民の利便性を高めては。

市民部長 コンビニ収納は熊本市・山鹿市・天草市・上天草市が実施しており、本市でも上下水道料は20年2月から実施しています。また、菊池地区税協議会で9月26日に山鹿市で研修を行います。費用対効果等の



健康が一番！

検証を行い、実施に向けた検討をします。クレジットカードについては現在、熊本県で実施している所はなく、今後の検討課題です。

来海 市長が健康づくりを注ぎたいと仰いました。是非、健康づくり推進条例を制定していただきたいと思えますが如何ですか。

健康福祉部長 策定までの期間は一定期間必要ですが、健康づくりは待ったなしです。条例の意義・目的・方向性を十分論議し、市民や議会のご意見も伺いながら進めて行きます。

住みよい環境、楽しい地域を作っていきます

松本 龍一 議員



―TODAY―
松本 最近の政府の動向は怎么样了。最近の政府の動向は怎么样了。

産業振興部長 野田政権に代わったが、参加への意欲は高いと思われる。11月までに大枠合意を目指すという事なので、今後とも十分注視していく必要がある。

―竹林整備事業について―
松本 竹林の現状、事業の進捗状況、事業の見直しについて伺います。

産業振興部長 事業実績は、19年3件、20年7件、21年5件、22年3件と低迷しており、荒れた竹林が多く目立っております。そのため補助金の額、一筆一筆に事業変更、チップの更新等検討していく必要があると考えております。

―若手の職員の研修について―
松本 農政課、商工課の若手職員に現場での実践的研修をさせてはどうでしょうか。

産業振興部長 以前は国から地方に研修に出したり、市でも自衛隊に体験入学させていたこともありましたが、基幹産業でもありません農業・商工業

の現場を体験するのは、有益なことであると考えます。

―子どもフェスティバルについて―
松本 子ども会の重要な事業であり合併5周年でもあるので、予算付けして盛り上げてはどうでしょうか。

教育委員長 実行委員会の方に向けて、市の方でもバックアップしていきたいと思っております。



子どもフェスティバル

―小規模開発に伴って作られた公園の整理統合について―
松本 住宅地内にある小さな公園をいくつかがまとめて大きな公園にすることができないでしょうか。

都市建設部長 対象となる地域の250m以内に2000〜3000㎡の公園を作るのであれば、可能であります。

誰もが安心して医療を受けられる国保制度に！

濱元 幸一郎 議員



濱元 本市では国保税の滞納を理由に、192世帯の保険証が市役所窓口留め置かれ無保険状態となっている。なぜ、こんなことをするのか。

健康福祉部長 滞納対策として、納税の勧奨を含め、納税相談の機会をつくる手法として行なっている。

濱元 納税相談の機会を作るためというなら、来るのを待っているのではなく市から訪ねていけばよい。「保険証を長期間留め置くことは望ましくない」との厚労省の通達も出されている。保険証がなく受診せず、手遅れで死亡した事例も全国で発生している。早急に留め置かれていた保険証を全世帯に届けるべきだ。

健康福祉部長 短期保険証の資格がある人は、保険証が手元になくても3割負担で受診が可能。保険証を全員に届けるのは困難である。

濱元 熊本市では、昨年滞納を理由に、窓口留め置いていた約8000世帯の保険証を郵送も含め全て被保険者に届けた。熊本市独自の調査で国保料滞納世帯のほとんどが生活

困難を理由としたものだったからだ。保険証を届け、市役所が直接訪問する心の通い合う収納対策を実施し、保険料の収納率も向上している。合志市でも早急に実態調査を行い、無保険者解消を図るべきだ。

市長 よく検討させて頂きたい。

―暮らし破壊の国保増税反対―
濱元 国保財政が赤字になるかもしれないから、今後どうするかという議論がある。何事も政策化するとき、市民生活を直視するのが第一だ。合志市の国保世帯の8割が年収200万円以下の生活。大変厳しい。私は国保税は1円たりとも増税してはならないと考える。市長の見解は。

市長 誰も喜んで上げる人はいない。いろんな仕組みを考え、検討していきたい。

